

令和7年度 茨城県立農業大学校評価表

重点目標Ⅲ 【 職員の指導力強化 】

1 現状及び課題、並びに評価項目

現 状	課 題	評価項目（達成目標）
○当校の職員は日本農業実践学園や鯉淵学園農業栄養専門学校等の民間校と違い、行政機関や研究機関、農業関連高校から転入した職員が栽培指導、ほ場管理、学生指導を行っている。	○行政機関や研究機関から転入した職員が、学生指導などに苦慮しないよう、教育方法などを学ぶ機会を確保する。 ○農業関連高校から転入した職員が、最先端の技術や現場の状況などに触れ、栽培技術のスキルアップを図るための機会を設ける。	職員の資質向上機会の確保 職員研修参加回数 2回以上/人

2 評価項目別の評価及び次年度の課題等

職員の資質向上機会の確保				達成度の評価基準	
達成目標	達成度	評価の概要	関係者評価委員会からのコメント [全般]	A	100%達成
職員研修参加回数 2回以上/人 【R6実績：3.75回/人】				B	80～99%の達成
				C	60～79%の達成
				D	40～59%の達成
				E	39%以下の達成

目標達成に向けた具体的方策	具体的方策の取組実績及び成果	次年度の課題	関係者評価委員会からのコメント
ア【継続】学生に対応する指導能力向上研修への参加 ・学生指導経験の浅い職員向けの学生指導研修を行う。 ・教職員を対象に、先端技術に係る指導力向上のための研修を行う。 ・関東ブロック農業教育施設協議会などでの研修会等への参加を誘導する。 1回以上/人【R6実績：1.5回/人】 イ【継続】農業技術能力向上研修への参加 ・県主催専門研修、各種研究会主催研修、農作業安全・大型特殊免許取得研修などの研修に参加する。 1回以上/人【R6実績：2.3回/人】			